

為桜学園 光プロジェクト 「先輩講話」

- 実施日 令和元年5月9日（木） 14:35～15:35
- 講師 小寺 輝 様（東京医科歯科大学付属病院 救急救命センター 所属）
- 参加生徒 809名（1年生～3年生）
- 実施場所 下妻一高 第一体育館

毎年恒例の「先輩講話」ですが、今回は「令和」の最初にふさわしく、20代のフレッシュな先輩をお迎えすることになりました。

講師の小寺 輝（おでら ひかる）さんは、本校の第110回卒業生。大宝小学校から下妻市立東部中学校へ進み、本校在籍時は野球部の外野手・四番打者として活躍されました。3年次の夏の大会では左のスラッガーとしてチームを県 BEST 8へと導いています。そして引退後は、東北大学医学部医学科に現役合格を果たされ、卒業後は船橋市立医療センター（千葉県）で研修医として、そして今春からは東京医科歯科大学付属病院救急救命センターにて勤務されているという、「若きドクター」です。本校の細野校長、および本田教諭（野球部監督）の教え子に当たることから、今回の講演が実現しました。

自分たちと年齢の近い小寺さんの言葉は、生徒たちの心にじかに届いたようです。とりわけ、高校1年次に部活動が忙しく、なかなか学習時間が取れずに焦（くすぶ）っていた際に、当時担任だった中田先生に言われたという…

「お前、野球が好きなんだろ？好きなことを言い訳にするのは、好きなことに失礼だぞ。」

…という言葉は、とりわけ後輩たちの胸に響いたようです。他にも…

「やりたいこと、やるべきことを明確にして、やらない、できない理由を見つけようとしないうこと。」

「1回1回の授業を大切に、充実したものにする。そのためには予習が必須。」

「睡眠時間は大切。睡眠時間を削って頑張っても効率は上がらない。」

「成功する人はPDCAサイクルを大切に、実行している。」

「もしあなたが負けると思うなら、あなたは負ける。もしあなたが勝てると思うなら、あなたは勝つだろう（ナポレオン・ヒルの言葉）」

…など、数々の含蓄に富んだアドバイスをいただきました。正味40分ほどという短い時間でしたが、浸透力は抜群で、終了後には教員間でも「いわゆる『頭の良い人の話し方』だよなー」という嘆声が出るほどでした。



また質疑応答のコーナーでは、医師として多くの方々の命と健康を預かることの責任感と自覚、覚悟について、高校時代に心折れそうになった際、周囲の友人や部活動の仲間存在に助けもらったことについて、そして、受験期の甘酸っぱい体験談についても披露してくださいました。

あっという間の時間でしたが、参加者諸君がこの機会に得た刺激を、これからの学校生活で活かしてくれることを期待したいと思います。そしてご多用の中、後輩たちのために足を運んでくださったことに感謝すると同時に、小寺さんの今後の活躍を心から祈念いたします。

小寺さん、改めてありがとうございました。

【アンケート結果】（全809名）

○ 今回の講演会は、あなたの今後の人生や高校生活の過ごし方を考える上で役に立ちましたか。

- | | |
|-------------------|-----------------|
| A 大いに役に立った・・・565名 | B 役に立った・・・237名 |
| C どちらでもない・・・7名 | D 役に立たなかった・・・0名 |



【生徒の感想から】

○ “自分を信じること”…その言葉が強く印象に残っている。自分は部活動でも、ミスをしなればよいなどと考えていた。それではダメだとお話を聞き気づくことができたのは、僕にとって大きな一歩だと思う。

○ 僕自身、〇〇部に入部しているので、日々疲れもたまり、勉強時間を確保することができませんでした。しかし、小寺先生も野球部員として毎日夜遅くまで練習していたため時間はないはずなのに、常に成績はトップ近くと聞いて、とても驚きました。

「なぜ自分と違って部活と勉強を両立できるのだろうか？」と疑問を持ちながらお話を聞いていたところ、「1回1回の授業を大切にしていた」とおっしゃっていました。「ただ聞き流しているだけの授業」だと自分のためにもならないし、時間も無駄に過ごしてしまうため、毎回の授業への取り組み方や姿勢をその都度見つめ直し、全力で理解しようとしていた小寺先生の勉強への姿勢を参考にして、授業はもちろん、登校中や下校中の時間も有効に使っていこうと思いました。また、今後の目標を設定して、自分の夢に向かって何事にも全力で取り組んでいこうと思います。

○ 小寺さんと違い、私はネガティブ思考の人間です。また、一つのことを集中して行うことができません。しかし今回、このような貴重な経験を通して1つ大きなことを学びました。それは、「前を見て歩くことが大切。そして自分はどう見られているのか、主観的にではなく、客観的に自分と向き合う」ということです。

私は自分を見つめ直し、変えられることを変えていこうと思いました。

○ 医師と言っても、小児科であったり救急であったりと多種多様な職業だと思いました。しかし共通していることは、「いのちを守る、最後の砦は医師」だと先輩のお話から感じました。私は教師になろうと思っているのですが、児童・生徒を第一に考えた指導を将来できたらいいなと思いました。…部活で忙しい中でも自分の時間をどのように使うのか考え、常に自分の最善を尽くすことを考え続けていくことの大切さを学ぶことができました。先輩に教えていただいた「信念」という教訓を自分の生活の中に取り入れていきたいと思います。

○ 今の私は勉強をおろそかにしてしまっているので、小寺さんの話を参考にしたいと思った。

例えば、少ない時間を有効活用すること。部活ではインハイ県予選優勝を目標としている。強豪校は私たちよりも多く練習している。私たちには私立の人たちより時間がない。だからこそ、効率の良い、ムダのない練習をしたい。また勉強時間も限られている。だから、ムダのない勉強をしたい。…あと、部活はやらされているのではなく、自分の意志でやっているの
で成績が落ちても部活のせいにはしないようにする。また、今やりたいことより今やるべきことを優先して取り組みたいと思う。部活も勉強もおろそかにしない！

○ 実は昨年、数学の担当が本田先生でして、たぶん小寺さんのことだと思うんですが、「野球部に3年間所属していたのに現役で東北大学の医学部に合格した超人がいる」というのを授業で話されていました。そんな方に実際お会いして話が聞けるなんて本当に光栄なことでした。

…限られた学校生活をより充実したものにするために「PDCA」をしっかりと心がけたいと思いました。失敗を失敗のままにしないで、失敗を成功にできるような勉強方法、生活にしていきたいと思います。本日の講話は自分にとってすごく刺激になりました。

○ …私は野球部のマネージャーをしています。小さい頃からの夢だったので、今マネージャーとして野球に関われることを嬉しく思っています。しかし、時々「部活の時間が長いから勉強する時間もない」と思ってしまっていました。小寺さんの話を聞いて、改めて今マネージャーができていることに幸せを感じ、もう言い訳にしないと思いました。今はとても大変な時期ですが、今の努力はきっとこれから自分の強みになっていくと思うので、私も小寺さんのように毎日コツコツと努力を積み重ねていきたいと思います。

○ 現在の野球部より、小寺さんの時の方が圧倒的につらいのに…見習わなくてはならないと思った。今何をすべきか、…勉強の方法やスケジュールを考えるようにする。